

関西大学法学論集 第五十二卷 総目次

論 説

号 頁 通巻頁

日本国憲法二四条解釈の検証……………君塚正臣……………(一)(一)

——或いは「家族」の憲法学的研究」の一部として——

妊娠中絶の自由の本質とその限界……………小林直三……………(七三)(七三)

——米国連邦最高裁判例を素材として——

大学における「比較憲法」の存在意義……………君塚正臣……………(一)(二二七)

——一般教養・法学部・法科大学院・法学研究科——

脱退に関する規定を含まない条約からの脱退可能性について……………中野徹也……………(五七)(二八三)

クローン技術規制法第三条の処罰根拠と不処罰根拠……………葛原力三……………(一)(五〇三)

アメリカにおける移植医療制度改革と連邦議会……………石橋章市朗……………(三三)(五三五)

結果的加重犯における「基本犯」と「重い結果」との関係について……………佐伯和也……………(八〇)(五八二)

——傷害致死を中心に——

面接交渉権の法的性質に関する一考察……………花元彩……………(一四六)(六四八)

——アメリカにおける継親子間の訪問権を中心に——

被害者の承諾における欺もう・錯誤(一).....	森永真綱.....三	(一九九)	(七〇二)
区分所有建物の立て替え——その立法課題——.....	月岡利男.....四五	(一)	(二〇〇九)
遺贈の持戻しについて.....	千藤洋三.....四五	(五二)	(二〇六〇)
ドイツ新債権法における仕事の瑕疵に関する請負人の責任.....	今西康人.....四五	(八五)	(二〇九三)
素描・効果論から見た契約法の分化傾向.....	久保宏之.....四五	(一一五)	(一一二三)
——契約解放規範と契約維持規範の錯綜——.....			
組合型団体における任意脱退の意義と機能.....	後藤元伸.....四五	(一五六)	(二一六四)
——ドイツ法およびフランス法との比較法的考察——.....			
万国海法会海上物品運送条約草案における運送人の責任.....	栗田和彦.....四五	(二〇三)	(二二二)
インド憲法の改正.....	孝忠延夫.....四五	(二四二)	(二二四九)
——憲法改革検討委員会最終報告を手がかりとして——.....			
法律行為と憲法の第三者効力論.....	君塚正臣.....四五	(三七七)	(二三八五)
——日本の憲法学は憲法の私人間効力をどのように考えていくべきか(一)——.....			
被災者住宅再建支援制度とその法的諸問題.....	池田敏雄.....四五	(四四九)	(二四五七)
詐欺罪における他人の財産に対する処分行為について.....	山中敬一.....四五	(四七五)	(二四八三)
法学における歴史観.....	竹下賢.....四五	(五一五)	(二五二三)
——法哲学の観点からの総括的覚え書き——.....			
A. イリエ教授の「グローバル・コミュニティ論」によせて.....	眞鍋俊二.....四五	(五四二)	(二五四九)
——Akira Irie, <i>Global Community: the Role of International Organizations in the Making of the Contemporary World</i> , University of California Press, 2002 の紹介と若干の考察——.....			

外国籍住民にかかる行政施策とその法的課題……………池田敏雄……………(一)(二五九九)

英国保守党「ニュー・ライト」と労働組合……………小西秀樹……………(三八)(二六三六)

——一九六〇年代野党期における労組政策の「転換」過程——

付随的違憲審査制の活性化に向けて……………君塚正臣……………(八二)(二六七九)

法文化論の方法の模索……………角田猛之……………(一一二)(二七〇九)

——安田信之「アジア法の認識枠組み」と
千葉正士「法文化の操作的定義」を手がかりにして——

政治的自発性の追求……………木村祐治……………(二四九)(二七四七)

——「Terry Eagleton Literary Theory」を手がかりに——

研究ノート……………

「憲法二部」授業評価アンケートからの考察……………君塚正臣……………(二五四)(七五六)

中国残留日本人とその家族の日本帰国について……………吉田徳夫……………(二二〇)(二八一八)

判例研究……………

総会屋関係者に対する銀行融資と心裡留保……………高森八四郎……………(三三二)(二八二九)

①事件 東京高判平成二二年四月一日……………岡田愛……………(三三二)(二八二九)

②事件 東京高判平成二二年五月二四日金融・商事判例一〇九五号一四頁……………

翻 訳

スイス刑法典総則改正草案(一)……………	葛原力三(監訳)……………	(二三一)	(一三二)
クルト・ゼールマン 企業の可罰性 その原因、パラドックス、そして影響……………	川口浩一(監訳)……………	(二五二)	(一五二)
クルト・シュモラー 殺人禁止・治療義務—臨死介助?……………	葛原力三(訳)……………	(二五六)	(一五六)
スイス刑法典総則改正草案(二・完)……………	山中敬一(訳)……………	(二五六)	(三六二)
	葛原力三(監訳)……………	(二五五)	(三八一)
	川口浩一(監訳)……………		

資 料

EU(ヨーロッパ連合)に関する一考察……………	眞鍋俊二……………	(二七三)	(一七三)
——辰巳浅嗣著「EUの外交・安全保障政策—欧州政治統合の歩み—」によせて——			
英国国際私法判例ノート(H14-1)……………	本浪章市……………	(二九五)	(一九五)
英国国際私法判例ノート(H14-2)……………	本浪章市……………	(二八三)	(四〇九)
住基ネット化と日本人の意識……………	眞鍋俊二……………	(二九八)	(四二四)
変わる司法 ロースクールと市民の司法参加……………	山中敬一(共編)……………	(二〇九)	(四三五)
——ドイツ・アメリカの経験と日本の選択——	葛原力三……………		
日本における公務員養成教育の展望……………	眞鍋俊二……………	(二七九)	(七八二)
——「行政大学院」創設にむけての若干の論点			
——平成一三年度関西大学学術助成基金による関連研究報告——			

第一回 ゲッティンゲン大学・関西大学法学シンポジウム

「ポータレス社会と法の課題——法律学に何ができるか——」(一)……………山中敬一(共編)……………三(二九七)(七九九)

インド憲法附則(一)……………孝野宣之……………三(三三六)(八三八)

スコットランドにおける法曹養成(スコットランド法入門(一))……………角田猛之……………三(三六四)(八六六)

H.MacQueen, *Studying Scots Law*, 2nd ed. (Butterworth, 1999) 翻訳(3)

法哲学研究のためのノート
啓蒙と理性——フランクフルト学派第一世代の問題圏——(1)……………玄哲浩……………三(四〇二)(九〇四)

外務省改革に関する一考察……………真鍋俊二……………六(二六二)(二八六〇)

インド憲法附則(二)……………孝野宜之……………六(二八六)(二八八四)

法哲学研究のためのノート
啓蒙と理性——フランクフルト学派第一世代の問題圏——(2・完)……………玄哲浩……………六(三一八)(二九一六)

紹介

カス・R・サンスティン
『民主主義の設計——憲法は何をなすのか』(二〇〇一年)(一)……………孝野直延……………三(四七二)(九七三)

カス・R・サンスティン
『民主主義の設計——憲法は何をなすのか』(二〇〇一年)(二・完)……………孝野直延……………三(四六〇)(二〇五八)